

# 令和5年度 学校自己評価システムシート（学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校）

|        |  |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 教育理念を具現化し、「本当のリーダー」を育てる学校<br>子どもたちの「ふるさと」になる学校 |
|--------|--|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | <p>1. 本校教育の基本方針に基づき、計画的且つ円滑な教務・校務業務の遂行。<br/>①進路対策 ②児童募集 ③受験に向けた4教科の指導の充実</p> <p>2. 「本当のリーダーを育てる学校」を目標として、その具現化に向けての教育活動を展開する。<br/>①学習環境の整備②特色ある教育の推進・充実③豊かな人間関係づくりの推進</p> <p>3. 学校と家庭との連携「共育」を軸に、信頼関係を保つ学校運営。<br/>①保護者ととともに児童を育てる「共育」の実践②特色ある教育の推進・充実</p> |
|------|---|

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 達成度 | A | ほぼ達成  |
|     | B | 概ね達成  |
|     | C | 変化の兆し |
|     | D | 不十分   |

| 学 校 自 己 評 価 |  |                                  |   |   |     |  |
|-------------|--|----------------------------------|---|---|-----|--|
| 年 度 目 標     |  |                                  |   | 年 度 評 価   |     |  |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目                             | 具体的方策   | 評価項目の達成状況   | 達成度 | 次年度への課題と改善策  |
| 1           | 教務・進路入試センター・研修等の分掌（担当）において業務が進められているが、学校運営の根幹を担っている上記分掌が効率的に行われているかを確認。また、その他の分掌・係との連携によって、学校運営が円滑に行われているかを確認。             | 分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。 | 年度初めに各分掌が年間計画を立案各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。                                     | 各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。  | B   | 30周年に向けての研究・研修推進体制の充実<br>「ふるさと」になる学校づくり  |
| 2           | 教科会・特色教育・放課後教育・課外活動・研修・児童会等の各分掌において、「本当のリーダーを育てる学校」「突破力を身につけさせる」を念頭に置きながら、教育目標の実践と学習指導と生活指導の一体化を推進することを通して、子どもの内在する可能性を拓く。 | 分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。 | 年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。公開研究会や校内研修を行い、日々の授業改善、教育技術の向上を図る。 | 各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し改善を行った。感染症の影響がなくなり、学校教育活動が通常に戻った中で、これまでの教育活動を見直し、より良い形での実施ができるようブラッシュアップを行なった。 | B   | 新学習指導要領に対応した教育課程・ICTの積極的活用。体験学習の充実。教科指導の改善。児童の基本的行動様式の徹底。児童の学習、生活での意欲を育てる。教育相談体制の充実。 |
| 3           | 保護者に対する様々な情報の発信、保護者の参加する学校行事、保護者会活動の充実。学園後援会活動に際して、保護者・教職員のより一層の積極的な活動参加により信頼を保った学校運営を行う。                                  | 分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。 | 年に2回の保護者との個人面談や授業参観日に行なわれるアンケートでの意見や思いを参考としてこれまでの各業務の現状を修正。   | 対面での保護者全体会や個人面談を実施した。オンラインとの併用で行いより多くの保護者が学校とのつながりが持てるよう実施方法を工夫した。  | B   | 学校行事や保護者会活動の計画・実施<br>保護者参加事業の工夫  |
| その他         | 本校に於いては、上記の重点目標のほかに施設設備・備品管理・情報機器・環境美化・防災教育・学校保健・事務(経理・庶務)などの校務分掌にて独自に目標を設定し、各学期末に業務報告を行い、次学期・次年度への課題・改善策を講じている。           |                                  |   |   |     |  |

| 学校関係者評価  |  |
|--|--|
| 実施日 令和6年 5月 31日  |  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等  |  |
| <p>①進路対策：内部進学基準などに関する説明会に1年生から参加できるようになり、より早く準備できるようになったと思う。一人ひとりの個性や状況をよく考えて進路相談に乗ってもらえました。内部・外部と幅広い選択肢を検討できている。②児童募集：全児童数の減少にも関わらず志願者が増加しており、評価いただいていることを実感できる。Xによる学校の様子・先生紹介なども効果に繋がっている。さとえの魅力を見せつける動画や写真を活用してほしい。③4教科の指導の充実：丁寧にご指導いただいているが、さらに強化してほしい。進度が早いので、理解が追いつかない場合の補習なども対応していただけると心強い。新しい習熟度別クラス編成で判断材料となる目安を提示した方が、自分のレベルに合ったクラスを選択しやすくなるのではないかと。先生と面談してクラス決定をするなど工夫してほしい。肯定感を待てるよう主体性を持たせていただき、大変満足している。内部進学対象者に向けた補習授業（Satoe Studies）等で、先生方のサポートが手厚いと感じる。栄東の難化傾向が強いため、中学受験に即したレベル別の指導体制と基礎を固める補習授業なども、必要となってくるのではないかと。教科書の変更、指導方法の変更、時間割やバスの運行変更など、その都度、より良い材料や良い方法を、取り入れられている。</p> <p>①学習環境：非常に満足している。低学年の英語教育（アプリの活用）などが良くなった。各学年のICT担当教諭の設定や、Native教員の存在、各教科専門担任制など、大変整っていると感じている。②特色ある教育の推進：アクティブラーニングを各教科で工夫して取り入れていると感じる。子供たちが楽しんで勉強に取り組んでいると思う。授業内でも研究発表の場があり、伝えるという意識の高まりが感じられる。学校内でも学習レベルが高いので、校内プログラムだけでも受験突破できる放課後教育ができることを希望している。ICT教育、総合の時間など、体験に基づいた子供たちの自主性や思考力を養う授業がさとえの教育の魅力だと感じる。③豊かな人間関係づくりの推進：異学年との交流を通して、同級生のみでなく縦の繋がりができる貴重な機会があり、それぞれの成長に繋がる素晴らしい制度となっていると感じる。校長講話や朝の校門での先生方のご視察、6年生の学年主任の先生の随筆配信、スクールカウンセラーの常駐など、児童の「こころ」の教育、情操教育にも力を注いで下さっていると感じる。校内での活動、各イベントでの他学年との関わり合いを持つことで、リーダーの素質として必要な主体性が身につく、コミュニケーション能力、周りを見る力、前向きに問題を解決する力、責任感、行動力などを養っていると感じる。ゲストティーチャーもよかつた、親の職業のことしかよく知らない、またお金の価値観がよくわかっていない子供が税について学ぶ機会は大切だった。</p> <p>①とても密に連携が取れていると感じる。積極的に協力して下さる保護者がとても多いため、大きな力になると思う。これまでの保護者会活動を継続しつつ、さらに発展させていきたい。教科学習については、把握できる部分とあまり詳細はわからない部分もあるため、トラビヤモノグラフなど何かツールを利用して保護者が把握しやすくしていただけたらありがたい。classroom等を通じて常に家庭と情報共有がなされており、共育および信頼関係は強固と思われます。全保護者による登下校視察、役員・クラス委員による運動会前日支援、環境整備部による学校周囲の落ち葉拾い等清掃活動など、保護者会活動が充実している。また保護者会や個人面談をZOOMで行うなど、対面とオンラインとの併用により、多くの保護者が学校とつながりが持てるよう実施して下さり、大きな効果があった。毎日のクラスルームに掲載される、先生からのコメント、写真のおかげで、子供たちの様子がよくわかった。個別連絡をメールでできる点も、担任の先生に相談しやすい環境であり、信頼関係の構築に繋がっていると思う。</p> <p>系列中学校では、英語に力を入れているようなので、Sクラスだけではなく、全体的にも少しレベルアップを目指してほしい。出欠連絡フォームの改善があれば良い。例えば、通常出席なら提出の必要がない。もしくは、専用アプリを作成していただき入力の手間を減らしてほしい。学校の外周を守衛さんが見回って下さるのは素晴らしい。もし可能なら自転車などを取り入れてはどうか。広いので一周するのに時間がかかるので、正門が留守になる時間も長くなってしまふため。冬服のジャケットの下に着るワイシャツ・ブラウスは4月、11月など昼中夏日のように暑くなることもあり天候や気温によっては、ジャケットの下は半袖を許可していただけると生活しやすくなるのではないかと。</p> |  |